



飲食業です。新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、野菜の自家栽培を思いつき、農業分野に挑戦してみようと思いました。資金のことや、実際にやってくれるのか、など不安だらけです。

事業計画策定

新分野に挑戦したい。まずは何から始めれば・・・

新分野への挑戦は、2つの事業を同時に進めるので、特に「事業計画」をしっかりと整えることが重要です。商工会議所では、新規開業する方はもちろん、異業種参入される方の計画についても相談指導しています。資金繰りや弱点の改善など、新しい挑戦の成功へ向けてのサポートを行います。



「事業計画」策定の重要性

どんな業種であっても、自社の長所・短所を把握することが大切です。自社の強みを前面に出し、弱みを改善することが、他社との競争に打ち勝ち、安定した経営へと導きます。営業形態を変えなくても、改めて事業計画を作成し現状を見つめ直すためにも「今のままでいいのだろうか?」と思っているのなら、迷わずご相談ください。



創業1年目のカフェ店主です。記帳の仕方など、このやり方でいいかどうか…。確定申告の時期も近づいてきているので不安です。

税務相談

一人で確定申告できるかしら・・・?

お任せください! 個人事業者の方は、まずは帳簿や収支がわかる明細などをお持ちください。不備などを確認しながら、決算の仕方をお教えします。

確定申告も同様に不明な点はお気軽にご相談ください。帳簿などを見ていくなかで、経営の弱点などが見つかることもあり、一緒に改善策を考えていきます。



正しい知識で、正しい税務を

巡回相談として市内公民館等で「確定申告決算準備相談会」も開催しています。この日は当所の経営指導員・税理士が会場に出向き決算準備のお手伝いをします、複数名が待機しているので対応もスピーディ。日程は本誌2月号でご案内しますので、是非ご利用ください。事業のスタート時は、記帳や申告などは不安がつきもの。正しい税務知識を持つことで経営者として様々な角度から事業を見ることができるようになります。また、経営指導員は毎年申告指導することで長期的に経営状態を確認でき、より適正なアドバイスが可能となります。

ご利用ください、商工会議所

加古川商工会議所は、地域の経済団体として1952年(昭27)に設立され、現在2,800を超える事業所の方々にご加入いただいております。今月の特集は、商工会議所の事業内容の中から、中小企業相談室で行う経営・税務等相談業務や補助金申請・販路拡大等支援業務についてご紹介いたします。経営の「困った」の解決の場として商工会議所をご利用ください。

— 無くてはならない窓口として —

会員の皆様、平素は当所運営に関し格別のご協力を賜り誠にありがとうございます。

現在、新型コロナウイルス関連支援策の協力金や補助金等のご相談のため、多くの方にご利用いただいております。お待ち頂くこともありますが、職員には出来る限り丁寧な対応をするよう申し伝えております。

マスク生活もすでに1年半以上。度重なる緊急事態宣言や自粛の長期化による影響で、飲食業や接客を伴うサービス業をはじめ、あらゆる業種が大打撃を受け、事業継続と売上確保に精一杯の厳しい経営状況で耐え忍んでおられることと思います。アフターコロナやウィズコロナの時代が到来し、売上回復・販路拡大等を図るためニューノーマルに沿った変革を伴う取り組みも必要となっています。いわゆる伴走型支援の増加に伴って、商工会議所の果たす役割は益々重要になると考えられます。

当所といたしましても会員の皆様に寄り添う「無くてはならない窓口」として、これまで以上にきめ細かい対応を行ってまいります。ぜひ、お気軽にご相談ください。

会頭 釜谷 和明



洋菓子の製造販売をしています。新商品を作るために、機械を買いたいのですが、資金が必要です。お金を借りたいのですが・・・。

金融相談

新商品を作るために新しい機械を買いたい!

「資金をこれに使いたい」という目的がはっきりしていれば、経営指導員が資金使途等のヒアリングを行い、決算書に基づき経営状況や、新たな機械による売上・利益予測に合った融資制度や返済計画等を一緒に考えていきます。

商工会議所が直接融資する制度はありませんが、国・県・市の制度融資の相談・斡旋を行っています。窓口・お電話にてご相談ください。



経営状況に見合った融資制度を提案

複数の借入があると返済が重なり手元資金が足りなくなることも。借入の一本化や自己資金の活用、据置期間の設定など無理のない返済計画を立てましょう。もちろん新たな設備で生産性向上など事業改善の見通しも重要です。資金繰りについてお悩みなら、お気軽にご相談ください。